

作成日：2005年 7月 6日  
最終改定日：2022年 5月 24日

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名	SOSEIコート イソ
会社名	株式会社トヨコー
住所	静岡県富士市青島町19
担当部門	
電話番号	0545-53-1045
FAX番号	0545-53-2045
緊急連絡先	同上
整理番号	PPE9-3231

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
	鈍性化爆発物	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入: 気体)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入: 蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)	区分4
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない	

環境に対する有害性	生殖毒性・授乳影響 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 誤えん有害性 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性) オゾン層への有害性	分類できない 区分3 気道刺激性 区分に該当しない 分類できない 区分に該当しない 区分に該当しない 分類できない
ラベル要素 絵表示又はラベル		
注意喚起語 危険有害性情報	危険 (H315)皮膚刺激 (H317)アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H319)強い眼刺激 (H332)吸入すると有害 (H334)吸入するとアレルギー、ぜん息または、呼吸困難を起こすおそれ (H335)呼吸器への刺激のおそれ	
注意書き	<b>【安全対策】</b> (P103)使用前にラベルをよく読むこと (P210)熱、火花、裸火、高温のもののような点火源から遠ざけることー禁煙。 (P223)水と接触させないこと (P233)容器を密閉しておくこと。 (P260)粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと (P262)眼、皮膚、衣類につけないこと (P270)この製品を使用する時に、飲食または喫煙しないこと (P271)屋外または換気の良い場所でのみ使用すること (P273)環境への放出を避けること (P281)適切な個人用保護具を使用すること。 <b>【応急措置】</b> (P302+P350)皮膚付着した場合：多量の水と石鹼で優しく洗うこと。 (P304+P340)吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 (P305+P351+P338)眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。 (P332+P313)皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること (P337+P313)眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること (P330)口をすすぐこと (P331)無理に吐かせないこと (P301+P312)飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。 <b>【保管】</b> (P401)国際/国/地方の規則に従って保管すること (P403+P404)換気の良い場所で保管すること。密閉容器に保管すること。 <b>【廃棄】</b> (P501)内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。	

### 3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

危険有害成分

混合物の組成のうち危険有害性が判明している成分を以下に示す。

成分名	CAS No.	官報公示整理番号	含有量%
ウレタンプレポリマー	非公表	(7)-820	75
メチレンビス(4,4'-フェニレン)ジイソシアネート	101-68-8	(4)-118 安衛法通知物質別表第9-599 化管法第一種448	25

毒物及び劇物取締法

該当成分なし

GHS分類に寄与する

該当成分なし

不純物及び安定化添加物

## 4. 応急措置

一般的な措置	気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護 医師に対する特別注意事項	救助者は適切な保護具を着用する。適切な換気を確保する 対症的に治療する。

## 5. 火災時の措置

消火剤	泡、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂
特有の危険有害性	消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある
特有の消火方法	消火水の下水への流入を防ぐ
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および 緊急措置	開封が終わるまで十分な換気を行う 適切な保護具を着用する
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。
封じ込め及び浄化方法・機材	下水、側溝等に入り込まないように注意する。 乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収して密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策	漏出物を回収すること

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと  
 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙  
 取り扱う場合は、局所排気内、あるいは全体換気設備のある場所で行う。  
 屋外、又は換気のよい場所でのみ使用する。  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 皮膚と接触しないこと。  
 眼に入れないこと。  
 吸入しないこと。  
 容器は開栓したらその都度密栓し、水分・湿気・異物等の混入を防ぐ。  
 製品容器の転倒・落下に注意する。  
 指定された材料以外のものと混合しない。また、本来の用途以外に使用しない。

#### 局所排気・全体換気

#### 安全取扱い注意事項

### 保管

#### 技術的対策

消防法の規則に従う。  
 製品を長期にわたり貯蔵したり、製品を取出し・混合する等の作業を行ったりする場合は、地下浸透や汚染等を防止するため、シート等を敷いて行う。

#### 適切な保管条件

直射日光・雨水・湿気を避けて、換気の良い冷暗所に密封保管する。  
 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。  
 密栓した容器に保管をし、40℃以下の一定の場所を定めて貯蔵する。

#### 混触危険物質

酸化剤、塩基など

#### 安全な容器包装材料

金属製(防錆コーティングスチールやステンレス)で密閉可能な容器

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

使用に際して蒸気またはミストが発生する場所では、全体換気設備・局所排気設備などを設置して換気を良くする。密閉場所で作業する場合には、底部まで十分に換気できる装置を用いる。

### 許容濃度:

製品の組成のうち、危険有害性が判明している成分について以下に示す。

危険有害成分の化学名	管理濃度(S63年労働省告示第79号 平成21年7月改正)	許容濃度	
		日本産業衛生学会 勧告値	ACGIH TLV-TWA(2007)
メチレンビス(4,4'-フェニレン)=ジイソシアネート	未設定	0.5mg/m <sup>3</sup>	TWA 0.005ppm (呼吸感作)

### 保護具

#### 呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

#### 手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

#### 目の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

#### 皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

### 衛生対策

眼、皮膚、衣類にはつけないこと

この製品を使用する時は、飲食や喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態、色	淡黄色透明液体
臭い(閾値)	特異臭(情報なし)
融点/凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし(ポリメリックMDIとして260°C付近で二酸化炭素を発生し重合)
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	220°C
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	水:不溶
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度)	1.09~1.13g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の保管及び取り扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	水と反応する 酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 酸類、塩基類と反応する。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	塩基類 酸類 酸化性物質(酸化剤) 還元性物質
危険有害な分解生成物	情報なし

## 11. 有害性情報

製品の組成のうち、有害性の判明している成分について以下に示す。製品としては危険有害性の評価を行っていない。

成分名	急性毒性		皮膚 腐食・刺激	眼 損傷・刺激	呼吸器 感作	皮膚感 作	生殖細 胞変異	発がん	生殖 毒性
メチレンビス(4,4'-フエニレン)ジイソシアネート	経口	-	2	2A-2B	1	1	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない
	吸入	ラット ミスト LC50=0.369mg/L/4hr							
	経皮	-							

成分名	標的臓器/全身毒性	誤えん有害性
メチレンビス(4,4'-フエニレン)ジイソシアネート	単回:区分3(気道刺激性)	分類できない

## 1 2. 環境影響情報

生体毒性	水生環境有害性(急性) メチレンビス(4,4'-フェニレン)ジイソシアネート 区分に該当しない EC50(72H)藻類=1.5mg/L
	水溶解度 水と反応する
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層有害性	情報なし
漏洩や廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。	

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。 残液ならびに洗浄廃溶剤は地面や排水溝へ流さない。
空の汚染容器および包装	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

## 1 4. 輸送上の注意

国連分類	該当しない
国連番号	該当しない
緊急時の応急措置指針番号	171
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に定められる運搬方法に従う。
海上輸送	船舶安全法、港則法に定められる運搬方法に従う。
航空輸送	航空法に定められる運搬方法に従う。
特別安全対策	輸送前に容器の栓が確実に施されて漏れないこと、及び所定の表示がされていることを確認する。 容器の破損がないように積み込んで荷崩れの防止を確実に行う。 積卸し作業は、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させ、車止めを施してから行う。 その他の取扱いについては、上述「7. 取扱い及び保管上の注意」の記載内容に準じて行う。

## 1 5. 適用法令

消防法	危険物:第4類第4石油類危険等級Ⅲ
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	有機溶剤等に該当しない 第57条の2文書交付義務対象物質 メチレンビス(4-4'-フェニレン)=ジイソシアネート
化学物質管理促進(PRTR)法	第一種指定化学物質 メチレンビス(4,4'-フェニレン)=ジイソシアネート
化審法	優先評価化学物質 メチレンビス(4,4'-フェニレン)=ジイソシアネート
大気汚染防止法	有害大気汚染物質 メチレンビス(4,4'-フェニレン)=ジイソシアネート
航空法	非該当
船舶安全法	非該当

## 1 6. その他の情報

参考文献	Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012) 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT) 2015 TLVs and BEIs. (ACGIH) <a href="http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php">http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php</a> JIS Z 7253(2019年) 2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会) Supplier's data/information
------	---

### 本書利用上の注意

記載内容は現時点で入手できた資料や情報にもとづいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする等の場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱いお願い致します。

全ての化学品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定してくださるようお願い申し上げます。

安全データシートの目的は当該製品を安全に取り扱っていただくための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。